

研究課題名「anterior temporal approach による脳動脈瘤クリッピング術の有効性と安全性と、その実態の検討」

五日市記念病院では、標題の臨床研究を実施しております。本研究の概要は以下のとおりです。

① 研究の目的

内頸動脈や脳底動脈の特定部位に発生した脳動脈瘤に対して脳動脈瘤クリッピング術を行う場合、重大合併症を回避する上では、anterior temporal approach という手法が非常に有効とされています。一方、この治療手法の有効性や安全性を客観的な数値で示した報告は意外にも少なく、熟練の脳神経外科医の経験によって裏付け・下支えされているのが実情です。今回この治療を受けられた方の、診療記録・術中動画を使用し、その有効性と安全性、及び実態を科学的に検討いたします。

② 研究対象者

脳動脈瘤（内頸動脈-後交通動脈分岐部、内頸動脈-前間脈絡叢動脈分岐部、脳底動脈-上小脳動脈分岐部、脳底動脈先端部）に対して、anterior temporal approach (retro carotic space の確保) を実施する方針で脳動脈瘤 clipping を行った方の診療データ。

③ 研究期間

研究期間は、2017年4月1日～2022年3月31日までです。

④ 研究の方法

五日市記念病院で、anterior temporal approachによる脳動脈瘤クリッピング術を実施した方の診療記録、術中動画から、患者背景（年齢、性別、BMI、既往歴、生活歴、内服歴、家族歴）、症例因子（側性、部位、破裂 or 未破裂、多発性 or 単発性、特殊性）、手術因子（手術時間、緊急手術、夜間手術、細かい治療手順）、等の情報を抽出して、手術の安全性と有効性の両方が十分に担保できた症例と、そうではなかった症例に、一定の傾向が存在しているか否か、検討いたします。個人情報十分保護され、五日市記念病院にて厳重に取り扱います。

⑤ その他

電子情報はパスワード等で制御されたコンピューター、ウイルス対策ソフトがインストールされたコンピューターに保存します。調査結果は、個人を特定できない形で、関連の学会や論文として発表する予定です。ご自身の情報が研究に使用されることについて、ご

了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。

⑥ 問い合わせ連絡先

五日市記念病院

住所：広島県広島市佐伯区倉重一丁目 95 番地

担当者：脳神経外科 大庭 秀雄

メールアドレス：imh@seifu.net

電話番号：082-924-2211